

臨床検査に関するお知らせ



株式会社セントラル医学検査研究所

TEL(本社)029-225-8858 (下館)0296-28-5900

先生各位

2021年2月

A-21-03

検査受託中止のお知らせ

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、下記検査項目におきまして、検査の受託を中止させて頂きたくご案内致します。

尚、裏面の検査項目に関しましては、代替項目等がございますのでご確認下さい。

先生方には大変ご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご了承賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ 最終受託日

2021年3月30日(火) ご依頼分をもって受託中止

※ 抗アニサキス IgG・IgA 抗体については、3月26日(金)ご依頼分をもって受託中止

◆ 受託中止項目

2020・21年 検査案内	項目 コード	検査項目	備考
p.10	2030	リポ蛋白分画/PAGE	測定機器老朽化の為 関連項目：2200 リポ蛋白分画/HPLC (129点)
p.11、44	3060	ポルフォビリノゲン	受託数僅少の為
p.11、57	3080	赤血球遊離プロトポルフィリン	
p.35	19490	PFD テスト (PABA 排泄率)	
p.36	20330	CA602	
未掲載	16710	水痘帯状ヘルペス抗原 (シェル・ハ [®] イアル法)	
	31360	プロトロンビンフラグメント F1+2	測定試薬販売中止の為 関連項目：31280 (181点) トロンビン・アンチトロンビンⅢ複合体 (TAT)
	40420	HLA-DQA1 (DNA タイピング)	測定試薬販売中止の為
	13420	アニサキス IgG・IgA 抗体	測定試薬販売中止の為、 2021年3月26日(金) ご依頼分をもって受託中止。

<裏面に続く>

2021年3月30日（火）ご依頼分をもって受託中止

2020・21 年 検査案内	項目 コード	受託中止項目	項目 コード	代替項目	実施料	備考
p.30	18240	TSH レセプター抗体 (TRAb) /RRA	18280	TSH レセプター抗体 (第3世代) /ECLIA	226点	測定試薬販売中止の為
p.36	20170	PSA-ACT	20160	PSA F/T 比	154点	項目集約の為
未掲載	14010	HBs 抗原定性/MAT ※	14030	HBs 抗原/CLIA	88点	測定試薬販売中止の為
	19420	グルカゴン	19650	膝グルカゴン	150点	項目集約の為

※ HBs抗原定性/MAT法の代替項目として、検出感度の高いCLIA法を推奨させていただきます。

B型肝炎ウイルス（HBV）について、感染スクリーニング検査やB型肝炎治療経過観察には、より検出感度の高い検査が求められています。

また、免疫抑制剤、抗悪性腫瘍剤、抗リウマチ剤などの免疫抑制作用を有する医薬品による治療においては、HBV感染のある患者に投与した場合、HBVの増殖による肝炎があらわれることがあるため、治療に際しては感度の高い測定法を用いて検査することが望まれています。

- 日本肝臓学会編『B型肝炎治療ガイドライン(第3.2版)』（2020年7月公開）では、スクリーニングに感度の高い方法の使用が推奨されています。

【参考 URL】 日本肝臓学会「B型肝炎治療ガイドライン」：

http://www.jsh.or.jp/medical/guidelines/jsh_guidelines/hepatitis_b（2020年9月閲覧）

- 社会保険診療報酬支払基金が公開している『審査情報提供事例』では、B型肝炎の疑い、手術前・観血的検査前、B型肝炎の経過観察において、原則として区分番号「D013」肝炎ウイルス関連検査の「3」のHBs抗原を測定し算定することは認められるとされています。

【参考 URL】 社会保険診療報酬支払基金「審査情報提供事例」：

<https://www.ssk.or.jp/shinryohoshu/teikyojirei/ika/kensa/index.html>

- HBs抗原検査試薬の添付文書では各社共通して、【重要な基本的注意】として以下の記載があります。

【重要な基本的注意】

B型肝炎ウイルス（HBV）感染の診断は、他の免疫測定法等と同じく、本品による陽性又は陰性の検査結果のみにより行わず、HBc抗体測定、HBV-DNA定量検査等、他の検査結果及び臨床経過を考慮して総合的に判断して下さい。特に下記の場合は使用方法に留意して下さい。

1. 健康診断時のスクリーニング検査
できるだけ検査感度の高い EIA 法／化学発光法などを用いた検出試薬を使用し、イムクロマト法や凝集法で検出感度の低い検出試薬の使用にあたっては、十分に留意して下さい。
2. 緊急検査
緊急対応として実施される迅速・簡便な検出試薬において、陰性と判定された場合でも、必要に応じてさらに検出感度の高い検出試薬で再検査することをお奨めします。
3. B型肝炎と診断された患者の経過観察検査
EIA 法／化学発光法、凝集法、イムクロマト法等いずれの方法を用いた検出試薬でも使用できますが、陰性化した場合はより検出感度の高い検査方法で確認することをお奨めします。